

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ランランランド			
○保護者評価実施期間	R7年 1月15 日 ～ R7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ～ R7年2 月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3 月10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	機能訓練士による「姿勢保持」と保育士・児童指導員による療育、活動参加での多様な取り組みが可能です。	5領域に基づいた目標を設定した活動に繋がるよう連携をとりながら計画的に活動への参加をして貰っています。	保育士・児童指導員の採用を増やして更に充実した療育を目指します。
2	経験豊富な看護師が在籍しており、医療的ケア児の安全にも十分配慮しています。	主治医や関係機関との連携を含め、体調管理や情報交換を行っています。 事業所内で個別のケア表を作成しており、1日のタイムスケジュールや医療的なケアの内容も細かく記載、全てのスタッフや看護師が一目瞭然で理解出来る様にしている。	更に手厚いケアを行うため、看護師採用を目標にしています。
3	スタッフ自身の身体の使い方や児童に無理の無い体位や姿勢を考えて過ごしています。 オムツフィッターによるおむつの当て方、選び方の指導者が在籍している。	2名体制での移乗やリフトを使用する環境を整えています。 おむつに関しては、個別に学校や保護者からの疑問や質問、困りごとの解決、アドバイスをしています。	新しく入職したスタッフへの研修等も更に充実させたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	来所後のバギーの設置場所などで狭く感じる事がある。	構造的な問題が要因と思われます。	現段階での解決策（置き場所の工夫）などで対応する以外無いと考えます。 子供たちに不自由の無い場所の工夫を継続していきます。
2	重心児の事業所として現段階の加配以上の人員基準を満たす事が難しい営業日がある。	時間単位で稼働できる看護師等の採用が困難	児童が居ない曜日や時間の基準緩和を切に望む。
3	事業所での父母の会を開催する事が難しい。	人数・曜日の調整が出来ず課題	業務の改善を含め事業計画を綿密に立てる必要があると考えます。今後は年間計画に基づき計画的に行えるようしていきます。